

令和5年5月17日

東京都千代田区四番町5番地3

科学技術振興機構（JST）

Tel : 03-5214-8404（広報課）

URL <https://www.jst.go.jp>

## 研究倫理映像教材「倫理の空白Ⅱ 盗用編」の オンライン公開について

JST（理事長 橋本 和仁）は、研究倫理映像教材「倫理の空白Ⅱ 盗用編」を制作し、JSTのホームページに公開しました（別紙）。

JSTではこれまで資金配分機関として、研究機関で研究倫理教育が着実に行われるよう、eラーニングの普及や研究倫理教材の提供、ワークショップや講習の実施などの支援を行っており、昨年度は、映像を活用した新たな研究倫理教育の教材として「倫理の空白 理工学研究室編」を公開しました。

このたび、研究倫理映像教材の第2弾として、新たに「倫理の空白Ⅱ 盗用編」を制作しました。この映像教材は、不正行為における一類型の盗用に焦点を当てたものです。人文・社会科学系と自然科学系それぞれの研究室を舞台にした2本のドラマで、盗用に至る過程が描かれています。

近年の不正事案では、人文・社会科学系における盗用が相次いでいるほか、自然科学系においても盗用が見受けられ、盗用に対する効果的な研究倫理教育教材を希望する声もあることからこの2分野を取り上げながらも、分野を問わず多くの研究に携わる方々が活用できることを目指して制作しました。

研究者が日々の研究活動で求められる倫理意識をより高めることを目的としており、視聴者自らが主体的に学習できる映像教材です。

人文・社会科学編では、主人公の大学生が学部生時代から倫理的問題を含む行為を繰り返す中で、主人公の行為がついに盗用疑惑につながる過程が描かれています。

また、自然科学編では、1つの共著論文を巡って、ある研究室内における盗用の不正行為疑惑が発生します。当事者間の研究倫理の認識に対する違いなどを契機に、登場人物たちは、大学の不正調査委員会を通じ、自身がさまざまな倫理的問題にさらされていたことを振り返ります。

いずれのストーリーにおいても、他人のアイデアや文章を踏まえて論文を書く際の研究倫理の重要性や、自身が執筆する文章を大切にすることへの認識を深めるシーンを含めており、このドラマを通して疑似的な体験をすることで、研究者としてのあるべき姿を考え、倫理的判断力や態度を養うことができます。

これまでのeラーニングやテキストの知識習得型教材とは異なる、ドラマ形式の双方向型教材により、倫理的問題に直面した具体的な場面を想定しながらの議論ができます。ドラマの視聴とディスカッションを組み合わせたワークショップやグループワークで活用することが最も効果的です。

大学での講義や研究機関での講習など、さまざまなシーンで使用することも可能です。本教材が各研究機関における研究倫理教育の一助となり、研究不正を防止し、責任ある研究活動の推進に資することを期待しています。

研究倫理教材「倫理の空白Ⅱ 盗用編」の映像は、以下のJSTホームページからご覧ください。

URL : [https://www.jst.go.jp/kousei\\_p/measuretutorial/mt\\_movie\\_gapinethics2.html](https://www.jst.go.jp/kousei_p/measuretutorial/mt_movie_gapinethics2.html)

**<添付資料>**

別紙：JST研究倫理映像教材「倫理の空白Ⅱ 盗用編 人文・社会科学編／自然科学編」  
～2つのストーリーで描かれるそれぞれの盗用～

**<お問い合わせ先>**

科学技術振興機構 法務・コンプライアンス部 研究公正課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

成重 隆也（ナリシゲ タカヤ）

Tel : 03-5214-8390 Fax : 03-5214-8393

E-mail : rcr-eizo[at]jst. go. jp

JST研究倫理映像教材  
 「倫理の空白Ⅱ 盗用編 人文・社会科学編／自然科学編」  
 ～2つのストーリーで描かれるそれぞれの盗用～



## 1. ストーリー

### <人文・社会科学編>

主人公の大学生 優子は、学部生時代のレポートを作成する際、「コピー＆ペーストは効率的に文章を書くためのツール」と考えていました。優子は、修士課程、博士課程に進み、さらに研究活動を続け、准教授になります。研究の実績を積み、順風満帆と思われた優子ですが、論文執筆における引用や参照をする際に、倫理的問題を含む行為をしてきたことが、ついに盗用疑惑につながります。

### <自然科学編>

ある大学の3人の研究者が主人公です。3人は、たんぱく質に関する論文で、高評価を得た論文の共著者でした。この共著論文に盗用の疑惑が発生し、大学の不正調査委員会が開催され、3人には告発に関する通知が届きます。それぞれの道を歩み始めた3人は、1つの共著論文の執筆過程における当事者間の研究倫理の認識に対する違いなど、執筆当時の行動を振り返ります。盗用疑惑に至るまでの研究行為や倫理的問題について、不正調査委員会を通じて、登場人物たちが回想します。

## 2. 公開サイト

[https://www.jst.go.jp/kousei\\_p/measuretutorial/mt\\_movie\\_gapinethics2.html](https://www.jst.go.jp/kousei_p/measuretutorial/mt_movie_gapinethics2.html)

### 3. 視聴時間

人文・社会科学編：約26分 自然科学編：約33分



教授に相談する主人公（人文・社会科学編）



研究室で実験する主人公の1人（自然科学編）